BUILDING TRUST

ADDITIONAL TECHNICAL INFORMATION

Hamatite SC-PU2NB

Hamatite SC-PU2NB とケイミューシポレックス株式会社製 ALC との引張接着性試験

1　目的

本 ATI は、弊社製シーリング材 Hamatite SC-PU2NB のケイミューシポレックス株式会社製 ALC に対する接着性について、日本産業規格「JIS A 1439:2022 引張接着性試験」に基づき評価を行い、その性能を確認することを目的とする。

2　試験結果

Hamatite SC-PU2NB とケイミューシポレックス株式会社製 ALC に対する引張接着性試験結果を表 1 に示します。

表 1　引張接着性試験結果まとめ

被着体	条件	ケイミューシポレックス株式会社製　ALC				合否判定
		50%引張応力 (N/mm2)	最大引張応力 (N/mm2	最大荷重時の伸び率 (%)	破壊状況	
Hamatite SC-PU2NB（2024 年 8 月 19 日製造以降）	養生後	0.17	0.36	668	AF 無し	○
	水浸せき後	0.15	0.34	613	AF 無し	
	加熱後	0.13	0.33	537	AF 無し	

JIS A 1439:2022 に準拠した引張接着性試験の結果、50%引張応力が 0.20N/mm2 以下（養生後・水浸せき後）、50%引張応力が 0.30N/mm2 以下（加熱後）かつ、破壊状況は AF が 5%以下であることが確認されました。
これにより、本シーリング材はケイミューシポレックス株式会社製 ALC へ良好な接着性を示し、実用上問題ない性能を有していると判断されます。

シーカ・ジャパン株式会社
Applied Engineering & Technical Service
Sealing & Bonding
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀞 1-1
https://jpn.sika.com/

3　試験方法

3.1.試験の種類

被着体[ケイミューシポレックス株式会社製 ALC]に対する弊社製シーリング材 Hamatite SC-PU2NB について、日本産業規格『JIS A 1439 -2022 引張接着性試験』に基づいて接着性の確認を行った。

3.2.試験項目・養生条件

試験項目，養生条件を**表 2** により行った。

表 2. 試験の種類・試験項目・養生条件

試験の種類	試験項目	試験体の養生条件
引張接着性試験	養生後	前養生：23±2 ℃（50±5）% RH×7 日間 後養生：50±2 ℃×7 日間
	水浸せき後	養生後＋ 23±2 ℃の水中×7 日間
	加熱後	養生後＋ 80℃±2℃×14 日

4　判定基準

引張接着性試験結果を、下記に記載した合否判定基準にて判定した。

判定基準

（ア）　50%引張応力が 0.20N/mm^2 以下（養生後・水浸せき後）
　　50%引張応力が 0.30N/mm^2 以下（加熱後）
※「JASS8 防水工事 建築工事標準仕様書・同解説」記載の「ALC 薄形パネル」に倣った判定基準です。

（イ）　破壊状況は AF が 5%以下

参考文献

JP2_SB-2024-0135-TAt

免責事項：本書に記載されている、当社製品の施工及び使用に関する情報およびアドバイス（あわせて以下「本件情報」といいます。）は、Sika が現時点での知識及び経験に従い誠意をもって提供するものであり、当社製品が適切に保管され、適切に取扱われ、また、Sika の推奨に従って通常の状況下で適切に施工されることを前提としております。本件情報は、本書に明記された施工条件による施工と明記された製品にのみ適用されます。例えば被着材の変更など、施工条件が変更される場合、または、異なる用途で使用される場合は、Sika 製品を使用する前に、Sika 技術サービス部門にお問い合わせ下さい。本件情報は、使用者が意図する製品の用途や目的について検証することを免除するものではありません。すべての注文は、Sika の現時点での販売条件と納品条件に従うことを条件として、受注いたします。使用者は、使用される製品に関する最新のプロダクトデータシートを常に参照して下さい。それらのコピーはご要望に応じて提供いたします。

© 2013 Sika Schweiz AG

シーカ・ジャパン株式会社
Applied Engineering & Technical Service
Sealing & Bonding
〒254-0021 神奈川県平塚市長瀞 1-1
https://jpn.sika.com/